



図 7

図 8

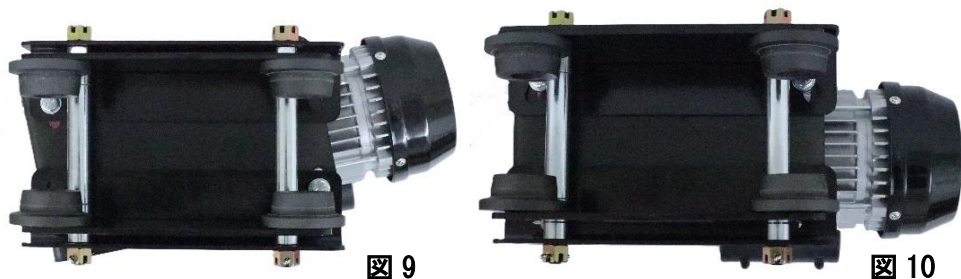


図 9

図 10

6. 再度荷を吊ってスムーズに走行する事と、バランスを崩さないことが確認できたら設置完了です。

■主要諸元

型式	定格荷重	最小回転半径	自重
EW-PTL	500kg	1.5m	5.5kg

新潟営業所 〒955-0092 新潟県三条市須頃 3-85

東京営業所 〒121-0055 東京都足立区加平 1-22-9

福岡営業所 〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王 1-8-7

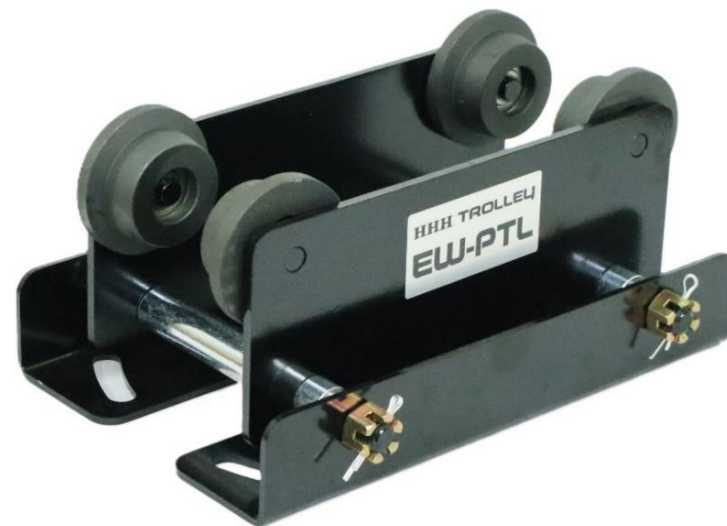
御幣島工場 〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島 6-11-24

# H.H.H.

## E CW100, 200 専用 プレントロリー

### EW-PTL

#### ■取扱説明書■



このたびは**H.H.H.**製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
安全のため本書を熟読の上、ご使用ください。

〒550-0012 大阪市西区立売堀 5-5-8

株式会社 **スリーエッチ**

## ■使用上の注意

1. 本機は**HHH**電動ウインチ専用です。それ以外の物と組み合わせて使用しないでください。
2. 本機を複数使用して一つの荷を吊らないでください（共吊り禁止）。
3. 必ず搬送物の真上から吊ってください（横引き・斜め引き禁止）。
4. 人間の搬送には使用しないでください。
5. 吊荷の下に人がいる状況では使用しないでください。
6. 本機を何かに衝突させるような使用はおやめください。
7. 改造は行なわないでください。
8. 電気溶接などのアースとして使わないでください。
9. 定格荷重を越える荷を吊らないでください。
10. 変形や走行不良等の異常があればただちに使用を中止してください。

## ■調節カラーの入れ方および各部の名称

ビーム幅によって調節用カラーの取り付け位置が変わります。組み立て時に図1か図2のように調節用カラーを入れてください。

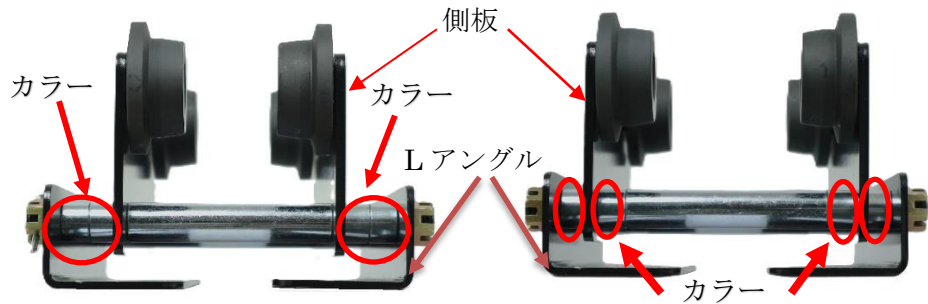


図1 (75mm 幅の時)

全てのカラーを側板の外側へ

図2 (100mm 幅の時)

前後左右カラー各1個を側板の内側へ

## ■設置方法

1. 片側のキャスルナットを外し、外した側の側板とLアングルも外してから上記カラー位置も確認の上、ビームに当てがいます（図3）。次に外した側板も

シャフトピンを通しながらビームに当てがい挟みこみます（図4）。

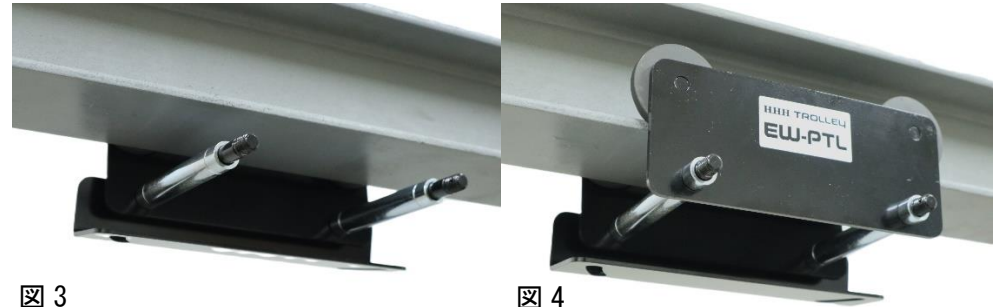


図3

図4

2. 両側の車輪がビームに乗ったらカラーとLアングルも入れ（図5）キャスルナットを締め、割りピンをシャフトピンの穴に差し込んでから広げてください（図6）。キャスルナットは締めすぎるとトロリーがスムーズに動きません。最後まで締めてから1~2溝ほど戻してください。

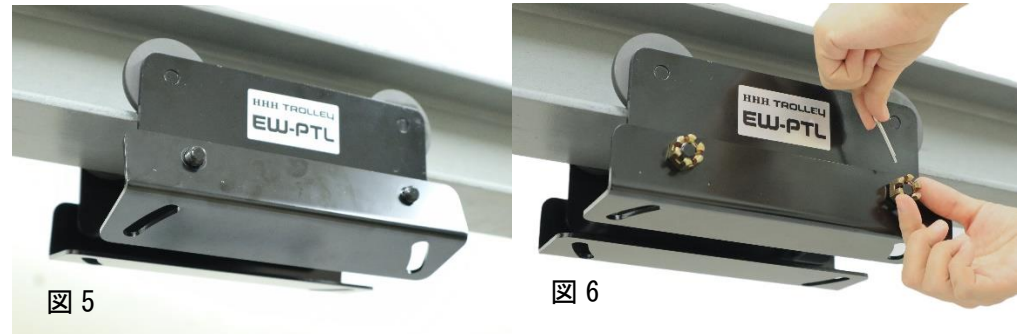


図5

図6

3. 車輪がうまくビームに乗っているか、大きなガタが無い、スムーズに走行するか等を確認してください。
4. 次にウインチを図7,8のように4ヶ所付属のボルト、平ワッシャー、緩み止めナットで仮止めします。ボルト側、ナット側両方に平ワッシャーを入れます。
5. ワイヤーがなるべくビームの中心近くから下がるよう角度をつけます。1本掛の場合は最大限角度を付けますが（図9）、EW-DFやEDF400を併用して2本掛にする場合（図10）は角度を付ける必要はなく、ビームと平行に取り付けられればOKです。取り付け角度が決まればボルトナットを強く締め付けて固定してください。